

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 特 許 公 報(B2)

(11) 特許番号

特許第3700544号
(P3700544)

(45) 発行日 平成17年9月28日(2005.9.28)

(24) 登録日 平成17年7月22日(2005.7.22)

(51) Int.Cl.⁷B 4 2 F 5/04
B 4 2 D 1/08

F I

B 4 2 F 5/04 B
B 4 2 D 1/08 M

請求項の数 6 (全 10 頁)

(21) 出願番号 特願2000-189755 (P2000-189755)
 (22) 出願日 平成12年6月20日(2000.6.20)
 (65) 公開番号 特開2002-2164 (P2002-2164A)
 (43) 公開日 平成14年1月8日(2002.1.8)
 審査請求日 平成15年4月3日(2003.4.3)

(73) 特許権者 000001351
 コクヨ株式会社
 大阪府大阪市東成区大今里南6丁目1番1号
 (74) 代理人 100101188
 弁理士 山口 義雄
 (72) 発明者 原田 明紀
 大阪市東成区大今里南6丁目1番1号 コクヨ株式会社内
 (72) 発明者 政岡 節男
 大阪市東成区大今里南6丁目1番1号 コクヨ株式会社内

審査官 赤木 啓二

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 アルバム用台紙

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項 1】

台紙本体の表裏各面にフィルムを配置するとともに、当該フィルムの所定箇所を台紙本体側に接着若しくは溶着して一端側から写真を挿入可能なポケットを台紙本体の面に設けてなるアルバム用台紙において、

前記ポケットの底部側に、当該ポケットに収容された写真を出し入れ口から押し出すための押出促進部を設け、

前記押出促進部は、写真の差し込み側先端部分を表出可能とする切欠部により構成され

、
 前記ポケットは台紙本体の表裏各面に設けられるとともに、当該台紙本体における表面側ポケットの切欠部形成位置と裏面側ポケットの切欠部形成位置は上下方向にずれて設定され、複数の台紙が重ね合わされたときに、前記切欠部から表出する写真の部分が直接重なり合わないよう設けられていることを特徴とするアルバム用台紙。

【請求項 2】

前記切欠部の領域内における台紙本体部分には、当該台紙本体の地色と異なる色が設けられていることを特徴とする請求項 1 記載のアルバム用台紙。

【請求項 3】

前記切欠部の領域内又はこれの近傍位置に、前記ポケットの出し入れ口側に向けられた矢印が設けられていることを特徴とする請求項 1 又は 2 記載のアルバム用台紙。

【請求項 4】

前記ポケットは複数並んで形成され、これら各ポケットを貫通させて大ポケットが設けられていることを特徴とする請求項 1、2 又は 3 記載のアルバム用台紙。

【請求項 5】

前記ポケットの底部側には、当該ポケットの底部と略平行に延びる切断部が形成されていることを特徴とする請求項 1、2 又は 3 記載のアルバム用台紙。

【請求項 6】

前記ポケットの底部外側には台紙本体部分によるガイド面が設けられていることを特徴とする請求項 1 ないし 5 の何れかに記載のアルバム用台紙。

【発明の詳細な説明】

【0001】

10

【発明の属する技術分野】

本発明はアルバム用台紙に係り、更に詳しくは、ポケットに収容された写真の取り出しを容易に行うことのできるアルバム用台紙に関する。

【0002】

【従来の技術】

公知のアルバム用台紙としては、例えば、図 8 に示されるタイプのものが知られている。同図において、アルバム用台紙 40 は、左右方向一端側に綴じ穴 41 が形成された平面視略長方形の台紙本体 42 と、この台紙本体 42 の表裏各面にフィルム F を配して所定箇所に台紙本体 42 との接着部 43 を設けて標準サイズの写真 P1 を収容可能な上下三段のポケット PK1、PK2、PK3 と、いわゆるパノラマサイズの写真 P2 を収容可能な大ポ

20

【0003】

前記上下三段のポケット PK1～PK3 の出し入れ口 45 には略半円形状の切欠部 46 が形成されており、これら切欠部 46 により、各ポケット PK1～PK3 内に収容された写真 P1 を抜き出すときに指先との接触が可能な構成となっている。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】

しかしながら、このようなアルバム用台紙 40 にあっては、ポケット PK1～PK3 の各出し入れ口 45 に切欠部 46 が形成されているため、写真 P1 を収容すべくポケット PK1～PK3 に差し込むときに、当該写真 P1 の差し込み側先端縁が切欠部 46 に引っ掛かり易くなってしまうという不都合がある。また、このような引っ掛かりは、出し入れ口 45 領域のフィルム F を破断させる原因ともなる。更に、切欠部 46 の形成位置は、台紙本体 42 の表裏に位置する各ポケット PK1～PK3 の上下方向略中央部に設定されているため、写真を収容した状態で複数のアルバム用台紙 40 が重ねられたときに、切欠部 46 の領域内に表れる写真 P1 の部分が直接重なり合ってしまう、当該重なり合い部分で写真 P1 同士が接着してしまうという不都合も招来する。

30

【0005】

【発明の目的】

本発明はこのような不都合に着目して案出されたものであり、その目的は、ポケットに写真を差し込むときに、当該ポケットの出し入れ口に写真が引っ掛かる虞をなくしてフィルム破損原因を回避する一方、容易に写真の抜き出しを行うことができるアルバム用台紙を提供することにある。

40

【0006】

また、本発明の他の目的は、写真を抜き出す際に指先との接触を可能とする切欠部を設けても、この切欠部に表出する写真部分が他の写真と接着することのないアルバム用台紙を提供することにある。

【0007】

本発明の更に他の目的は、廃棄する際に、台紙本体からフィルムを綺麗に剥がすことを可能として台紙本体の再生利用を容易ならしめるアルバム用台紙を提供することにある。

【0008】

50

【課題を解決するための手段】

前記目的を達成するため、本発明は、台紙本体の表裏各面にフィルムを配置するとともに、当該フィルムの所定箇所を台紙本体側に接着若しくは溶着して一端側から写真を挿入可能なポケットを台紙本体の面に設けてなるアルバム用台紙において、

前記ポケットの底部側に、当該ポケットに収容された写真を出し入れ口から押し出すための押出促進部を設け、

前記押出促進部は、写真の差し込み側先端部分を表出可能とする切欠部により構成され、

前記ポケットは台紙本体の表裏各面に設けられるとともに、当該台紙本体における表面側ポケットの切欠部形成位置と裏面側ポケットの切欠部形成位置は上下方向にずれて設定され、複数の台紙が重ね合わされたときに、前記切欠部から表出する写真の部分が直接重なり合わないよう設けられる、という構成を採っている。このような構成とすれば、ポケットの出し入れ口側に切欠部を設ける必要がなくなるため、写真を差し込む際の引っ掛かり原因を解消することができ、ひいてはポケットの出し入れ口領域のフィルム破断原因も回避可能となる。なお、写真をポケットから抜き出すときは、前記押出促進部を利用して写真をポケットの出し入れ口側に滑らせるようにすればよい。また、切欠部を設けることで、写真に指先を直接触れることができ、指先をポケットの出し入れ口側に移動することで、写真を押し出すことができる。更に、ポケットに写真を収容して各アルバム用台紙が重なり合う状態におかれたときに、前記切欠部に表出する写真同士が直接的に接触することがなくなり、写真相互の接着原因も解消することができる。

【0011】**【発明の実施の形態】**

本発明における切欠部の領域内における台紙本体部分には、当該台紙本体の地色と異なる色を付すとよい。これにより、フィルムが透明であっても切欠部の位置を視覚的に明瞭とすることができる。

【0012】

また、前記切欠部の領域内又はこれの近傍位置に、前記ポケットの出し入れ口側に向けられた矢印を設けることもできる。このような矢印を設けた場合でも切欠部の位置を明瞭にできる他、指先の移動方向を明示的に示すことも可能となる。

【0013】

更に、前記ポケットは複数並んで形成され、これら各ポケットを貫通させて大ポケットが設けられる、という構成を採用することができる。これにより、前記ポケットに収容できない平面積を有する長寸の写真、すなわちパノラマサイズの写真も収容することが可能となる。

【0014】

また、前記ポケットの底部側には、当該ポケットの底部と略平行に延びる切断部を形成することが好ましい。これにより、フィルムを台紙本体から引き剥がす際に、ポケットの底部を形成する接着若しくは溶着部に近い位置のフィルム部分を摘んで引き剥がし力を及ぼすことが可能となり、フィルムを台紙本体から確実に剥離することができ、台紙本体を再生する際にフィルムが混入するような不都合を効果的に防止することができる。

【0015】

更に、前記ポケットの底部外側には台紙本体部分によるガイド面が設けられる、という構成を採ることが好ましい。すなわち、ポケットの底部を台紙本体の端縁に設けるのではなく、当該端縁よりも内側位置をポケットの底部として形成することとよい。

【0016】

なお、本明細書において、「台紙本体の表裏」とは、一枚の台紙本体の表裏各面を意味する他、一枚の台紙本体を二枚厚に折り曲げて重ねた場合の表出面となる表裏各面をも含む。また、「台紙本体」は紙製に限らず樹脂製のものも含む。

【0017】**【実施例】**

10

20

30

40

50

以下、本発明の実施例を図面を参照しながら説明する。

【0018】

図1には本実施例に係るアルバム用台紙を表面側から見た概略斜視図が示され、図2には、その正面図が示されている。また、図3には、アルバム用台紙を裏面側から見た正面図が示されている。なお、図1では、発明の内容理解を容易とするため一定の肉厚が示されているが、実際のアルバム用台紙は、全体として略同一平面内に表れる程度のものである。

【0019】

図1ないし図3において、アルバム用台紙10は、縦方向に長い平面視略長形状の台紙本体11と、この台紙本体11の幅方向（左右方向）両側を除く表裏各面に縦長のフィルムFを配置して所定箇所を台紙本体11との接着部12とすることで台紙本体11の領域内に形成された上下三段のポケットPK1、PK2、PK3と、これらポケットPK1～PK3を貫通して上下方向に跨ぐように設けられた大ポケットPK4とを備えて構成されている。ポケットPK1～PK3は、標準サイズの写真P1を収容可能な大きさに設けられている一方、大ポケットPK4は、パノラマサイズの写真P2を収容可能な大きさに設けられている。

10

【0020】

前記台紙本体11は硬質な紙によって形成されており、当該台紙本体11の幅方向一端側には、図示しないアルバム本体の綴じ具に綴じ込み可能な綴じ穴15が形成されている。また、台紙本体11の綴じ穴15とは反対側領域、すなわち後述する底部の外側には、各ポケットPK1～PK3又は大ポケットPK4に収容された写真の内容等を必要に応じて記入することのできる罫線枠からなるメモ欄16が印刷されている。このメモ欄16が設けられている領域は、ガイド面としても作用するようになっている。

20

【0021】

前記ポケットPK1～PK3は、綴じ穴15側の縁が出し入れ口18とされる一方、アルバム用台紙10の自由端側が底部19とされている。各底部19側には、写真P1の差し込み側先端部分Peを表出可能とする押出促進部としての切欠部20がそれぞれ開口して設けられている。これらの切欠部20は、平面視半円形の凹状に設けられており、この切欠部20内に表出した写真P1部分、すなわち前記先端部分Peに指先を接触させて出し入れ口18側に移動することで、写真P1を取り出し口18の外に突き出し若しくは押し出しできるようになっている。ここで、切欠部20の領域内における台紙本体11部分は、当該台紙本体11の地色とは異なる色の着色部22が設けられ、この着色部22によって切欠部20の存在が明瞭となるように設けられている。なお、着色部22とメモ欄16との間には、前記出し入れ口18側に向けられた矢印23を印刷等によって設けてもよい。

30

【0022】

また、パノラマサイズの写真P2用の大ポケットPK4は、図中上端を出し入れ口26として構成されている。この出し入れ口26の略中央部には、前記切欠部20と同様の切欠部27が形成されているとともに、当該切欠部27の内側領域における台紙本体11部分にも着色部29が形成されている。

40

【0023】

図4には、アルバム用台紙10の表裏各面を比較対照するための正面図が示されている。この図に示されるように、表面側（図4中左側）の切欠部20の形成位置と、裏面側の切欠部20の形成位置は、上下方向にずれた位置に設定されており、アルバム用台紙10を複数枚重ね合わせたときに、切欠部20に表出する写真P1部分が直接重なり合うことがないように設けられている。

【0024】

次に、本実施例に係るアルバム用台紙10の利用方法について説明する。ここでは、標準サイズの写真P1の出し入れについて説明するものとする。

【0025】

50

写真 P 1 をポケット P K 1 ～ P K 3 に収容する場合には、フィルム F がカバーされていない台紙本体 1 1 の綴じ込み側の面をガイド面として写真 P 1 を滑らせながら差し込むことができる。この際、出し入れ口 1 8 には切欠部が形成されていないため、写真 P 1 の差し込み側先端が引っ掛かるような不都合は生じない。

【0026】

写真 P 1 をポケット P K 1 ～ P K 3 に収容した状態では、写真 P 1 の差し込み側先端部分 P e が切欠部 2 0 の領域内に表出することとなる。従って、この写真 P 1 をポケット P K 1 ～ P K 3 から取り出すときは、前記先端部分 P e に指先を当てがい、これを若干押圧しながら出し入れ口 1 8 側に移動させることで、写真 P 1 を出し入れ口 1 8 の外側に突き出すことができる。なお、この動作を爪先で行うと、写真 P 1 に指紋が付着することなく当該写真 P 1 を取り出すことができる。この場合、ポケットの底部 1 9 の外側に台紙本体部分、すなわちメモ欄 1 6 が存在しているので、当該領域を爪先のガイド面として利用することができる。

10

【0027】

このようにして写真 P 1 を収容したアルバム用台紙 1 0 は、実際には、綴じ具を用いて複数毎に綴じて用いられる。この場合、前述した切欠部 2 0 から前記先端部分 P e がそれぞれ表出する状態となるが、表裏の各ポケット P K 1 ～ P K 3 における切欠部 2 0 の形成位置が上下方向にずらされているため、アルバム用台紙 1 0 が重なり合う相対面において、写真 P 1 の先端部分 P e が直接接触し合うことはなく、従って、接触に伴う接着は生じない。

20

【0028】

なお、前記実施例では、フィルム F の一部を台紙本体 1 1 に接着することによりポケット P K 1 ～ P K 3 及び大ポケット P K 4 を形成した場合を図示、説明したが、本発明はこれに限定されるものではなく、台紙本体 1 1 を部分的に打ち抜いて、当該打ち抜き領域で表裏のフィルム F を溶着する構成としてもよい。また、ポケットの形成数、大きさも必要に応じて任意に変更することができる。

【0029】

また、図 5 に示されるように、前記実施例における台紙本体 1 1 の平面積の二倍サイズとなる台紙本体 1 1 0 を設けるとともに、この台紙本体 1 1 0 の左右各領域にフィルム F を配置し、台紙本体 1 1 0 の左右方向中心位置 C にて当該台紙本体 1 1 0 を二枚厚に折り曲げる構成としても前記実施例と同様の効果を得ることができる。

30

【0030】

更に、図 6 に示されるように、前記ポケット P K 1 ～ P K 3 において、底部 1 9 側に、当該底部 1 9 と略平行に上下方向に延びる切断部 2 5 を形成することもできる。この切断部 2 5 を設けた場合には、アルバム用台紙 1 0 を廃棄処分して、台紙本体 1 1 を紙として再生する際に、フィルム F を容易且つ綺麗に引き剥がすことができる。すなわち、図 6 中、切断部 2 5 に沿うフィルム F 部分を摘んで切断部 2 5 から左側領域を引き剥がす一方、フィルム F 部分を摘んで切断部 2 5 から右側領域を引き剥がすようにすればよい。これにより、接着部 1 2 の領域が多く占めるポケット P K 1 ～ P K 3 の底部 1 9 側も容易且つ綺麗に台紙本体 1 1 から剥がすことが可能となる。

40

【0031】

また、前記実施例における大ポケット P K 4 は必ずしも設けることを要しない。この場合、各ポケット P K 1 ～ P K 3 を仕切る位置に設けられた接着部 1 2 を出し入れ口 1 8 側から底部 1 9 側に長く形成することができる。

【0032】

更に、前記実施例では押出促進部として切欠部を採用した場合を説明したが、例えば、図 7 に示されるように、ポケット P K 1 ～ P K 3 の底部 1 9 側におけるフィルム F 部分に切り込み 3 0、3 0 を設けて開口を覆うようにしてもよい。そして、この切り込み 3 0 の領域に指先を押し当てて出し入れ口 1 8 側に移動することで、写真 P 1 を部分的に押し出せるようにしてもよい。このような切り込み 3 0 によって押出促進部を構成した場合には、

50

写真 P 1 に直接指が触れることがないという利点がある。しかも、この構成では、表裏のポケット P K 1 ～ P K 3 の切り込み 3 0 形成位置を同じにすることができる。。

【 0 0 3 3 】

【発明の効果】

以上説明したように、本発明によれば、台紙本体の面にフィルムを配してポケットを設けるとともに、当該ポケットの底部側に押出促進部を設ける構成としたから、ポケットの出し入れ口側に切欠部を設ける必要がなく、写真を差し込む際の引っ掛かり原因を解消することができ、これによって、出し入れ口領域のフィルム破断原因も回避可能となる。

【 0 0 3 4 】

また、押出促進部として、写真の差し込み側先端部分を表出可能とする切欠部を採用した場合には、写真に指先を直接触れるようにして指先をポケットの出し入れ口側に移動することで、写真を確実に押し出すことができる。

10

【 0 0 3 5 】

更に、ポケットを台紙本体の表裏各面に設けた際に、表裏各面のポケットにおける切欠部の形成位置を上下方向にずらしたことにより、複数の台紙が重ね合わされた状態で切欠部から表出する写真の部分が直接重なり合わないようになり、切欠部に表出する写真同士が直接的に接触することを防止して写真相互の接着原因も解消することができる。

【 0 0 3 6 】

更に、切欠部の領域内における台紙本体部分に地色と異なる色を付したから、フィルムが透明であっても切欠部の位置を視覚的に明瞭とすることができる。

20

【 0 0 3 7 】

また、前記切欠部の領域内又はこれの近傍位置に、前記ポケットの出し入れ口側に向けられた矢印を設けた構成によれば、切欠部の位置を明瞭にできる他、指先の移動方向を明示的に示すことも可能となる。

【 0 0 3 8 】

更に、前記ポケットを複数並んで形成し、各ポケットを貫通させて大ポケットを設ける構成を採用した場合には、パノラマサイズのような長寸の写真も収容することが可能となる。

【 0 0 3 9 】

また、前記ポケットの底部側に切断部を形成した構成では、フィルムを台紙本体から引き剥がす際に、ポケットの底部を形成する接着若しくは溶着部に近い位置のフィルム部分を摘んで引き剥がし力を及ぼすことが可能となり、フィルムを台紙本体から確実に剥離することができ、台紙本体を再生する際にフィルムが混入するような不都合を効果的に防止することができる。

30

【 0 0 4 0 】

更に、ポケットの底部外側に台紙本体部分によるガイド面を設けた構成では、写真を出し入れ口側に押し出す際の指先若しくは爪先を滑らす際のガイドとして利用することができる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】 実施例に係るアルバム用台紙の表面側を示す概略斜視図。

40

【図 2】 前記アルバム用台紙の表面側を示す正面図。

【図 3】 前記アルバム用台紙の裏面側を示す正面図。

【図 4】 アルバム用台紙の表裏各面に形成された切欠部の形成位置を示す説明図。

【図 5】 台紙本体を二枚厚に折り曲げるタイプとした場合の正面図。

【図 6】 ポケットの底部側に切断部を設けた実施例を示す概略斜視図。

【図 7】 押出促進部を切り込みによって構成された構成を示す正面図。

【図 8】 従来のアルバム用台紙の一例を示す正面図。

【符号の説明】

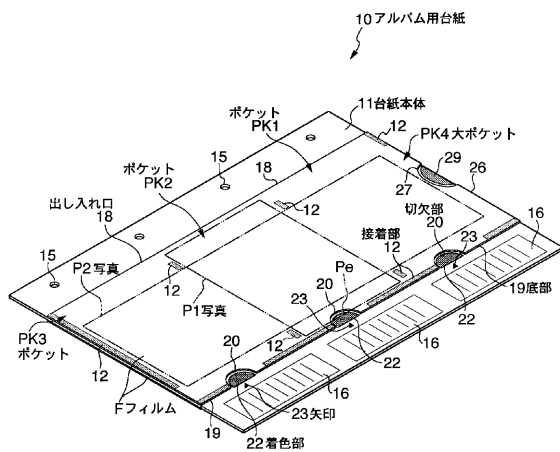
1 0 アルバム用台紙

1 1 台紙本体

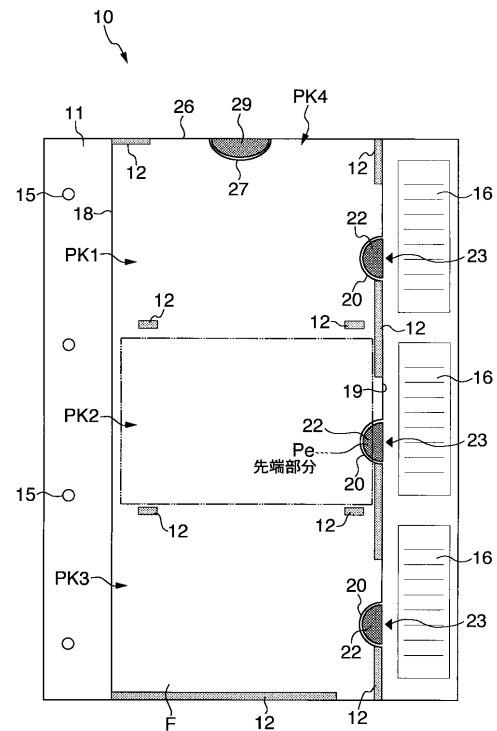
50

- 1 2 接着部
1 8 出し入れ口
1 9 底部
2 0 切欠部（押出促進部）
2 2 着色部
2 3 矢印
2 5 切断部
3 0 切り込み（押出促進部）
1 1 0 台紙本体
F フィルム
P 1 写真
P 2 写真
P K 1 ポケット
P K 2 ポケット
P K 3 ポケット
P K 4 大ポケット
P e 先端部分

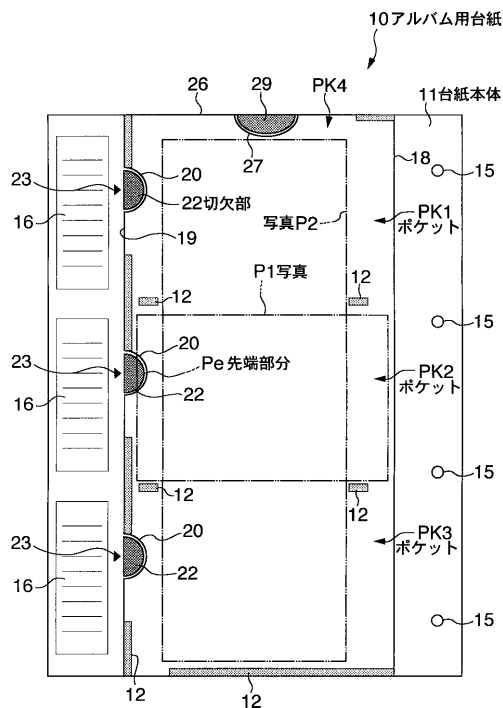
【図 1】



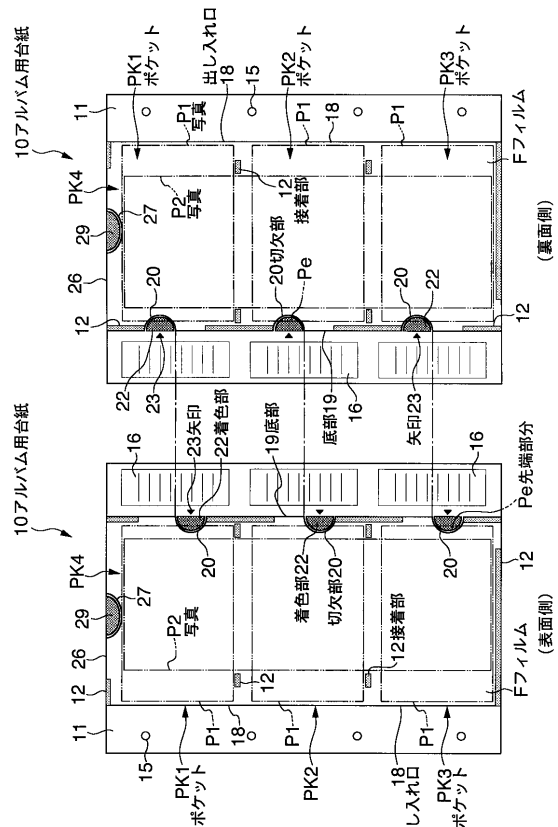
【図 2】



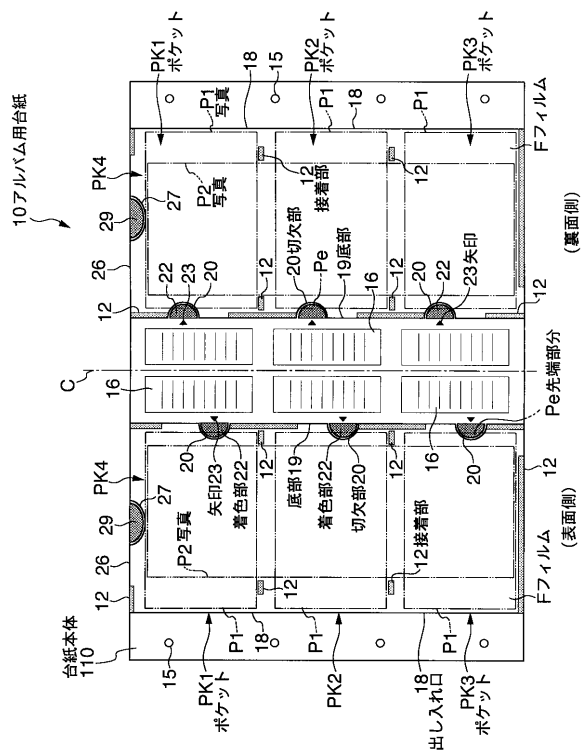
【図 3】



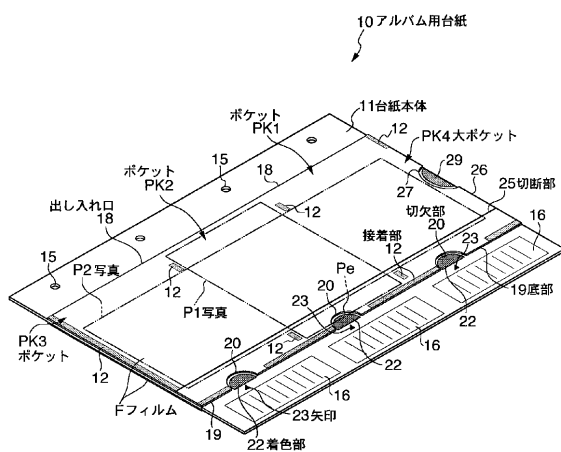
【図 4】



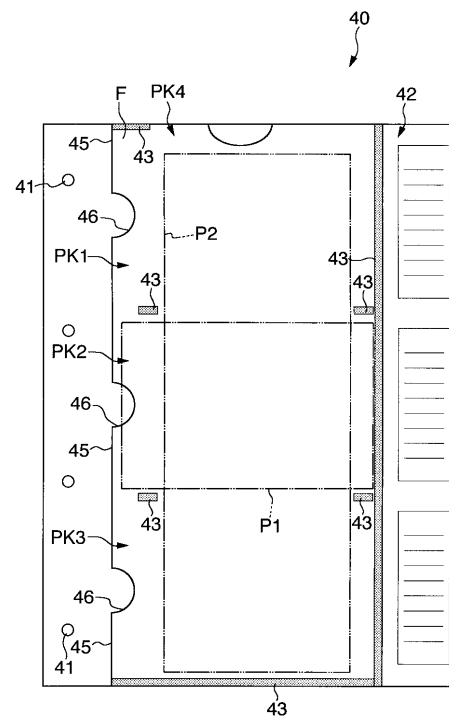
【図 5】



【図 6】



【图 8】



フロントページの続き

- (56)参考文献 実開昭51-161228 (JP, U)
実開昭50-051715 (JP, U)
実開平06-007976 (JP, U)
実開平07-033671 (JP, U)
実開昭58-168462 (JP, U)
実開昭58-194068 (JP, U)

(58)調査した分野(Int.Cl.⁷, DB名)

B42F 5/04

B42D 1/08